

分科会 番号・名称	主な内容 ・ 共同研究者（依頼中含む）	会場
◇乳幼児期	女子大附属（奈良女子大学附属中等学校） 教育大学（奈良教育大学）	
1 障害の早期発見と地域療育システム	母子保健・地域保健、健診、出生前診断、親子教室等。通園事業・児童デイ・通園施設と条件整備。今後の制度の在り方など。（近藤直子）	女子大附属
2 保育所・幼稚園における保育・療育	発達の見方、クラス編成・集団編成、あそび、就学までにつけたい力保育条件整備、父母との連携など（藤上真由美、松原巨子）	
3 発達のおくれ	軽い発達のおくれのある子、知的障害やダウン症の子どもの保育、集団編成、あそびなど（木下孝司）	
4 自閉症・自閉的傾向	自閉的傾向をもつ子どもの保育、「問題行動」とらえ方、コミュニケーション、集団指導と個別指導など（小淵隆司、白石正久、藤本文朗）	
5 多動な子・集団参加が困難な子（29日午前 特2軽度発達障害合同）	多動な子ども、LD、ADHD、高機能自閉症児などの理解、クラスと集団、あそび、個別の指導、育児相談等（佐々木美智子、別府悦子）	教育大学
6 肢体不自由・重症児	訓練のあり方、生活づくり・日課、あそび、専門施設と保育園、家族への援助 摂食指導、職種間の連携、医療的ケアの問題（細淵潔夫）	女子大附属

分科会 番号・名称	主な内容 ・ 共同研究者（依頼中含む）	会場
◇学齢期	教育大附属（奈良教育大学附属小学校）	
7 就学・修学、学校・学級づくり	就学指導・就学相談・体験入学。教育条件整備の諸課題。障害児学校学級、通級教室等の増設・充実の課題（河原京子）	教育大附属
8 笑顔の獲得などを課題とする子どもの教育	6か月頃までの発達課題をもつ子どもの教育、生活リズムの確立、健康、姿勢、摂食指導など（三木裕和）	教育大学
9 人やものに向かう力を獲得などを課題とする子どもの教育	10ヵ月頃までの発達課題をもつ子どもの教育、要求表現、喃語、模倣指さしなど、コミュニケーションの手段、教材の工夫（荒木穂積）	
10 話しことばの獲得などを課題とする子どもの教育	1歳半頃の発達課題をもつ子どもの教育、話しことばやサイン言語の獲得、集団編成、教材の工夫、授業展開など（土岐邦彦）	
11 視覚障害	生活実態からの子ども把握、早期発見・就学前教育・就学指導、後期中等教育と進路指導、盲学校・視覚障害学級の役割など（渡辺譲）	
12 聴覚障害	言語獲得とコミュニケーション手段、適正就学、通級による指導、9・10歳の発達の節、後期中等教育と進路指導など（藤井克美、竹澤清）	教育大附属
13 知的障害	教育課程・授業づくり、教材の工夫、学部や学校全体の運営。養護学校と障害児学級の分散会（妹尾豊広）	
14 肢体不自由	障害の重度化と実践、医療的ケア、肢体不自由学級のあり方、進路指導、教育条件整備（深沢美佐子）	
15 病弱・虚弱	生きる力を育てる、院内学級の実践、幼児期から後期中等教育までのあり方、ターミナルケア、医療との連携など（高山雅夫）	
16 自閉症・自閉的傾向	青年期までを見通したとりくみ、「問題行動」のとらえ方と対応、ことばや要求を育てる実践など（奥住秀之、内田芳夫、黒田吉孝、高橋宏）	女子大附属
17 LD、ADHD（29日午前 特2軽度発達障害合同）	LDやADHD、子どもの実態と障害、教育実践、適正就学、早期発見から教育、進路までの条件整備（窪島務、田中良三、西田清）	教育大学
18 国語	国語教育の内容と方法、文字・文章の読み書き、読み聞かせ・劇などの実践の交流（交渉中）	教育大附属
19 算数・数学	数量・図形・空間認識の発達と系統的指導、教材・教具の工夫、学習集団など（芳賀雅尋）	
20 理科・社会・生活・総合	子どもの発達と教科の系統性、自然認識・社会認識の発達、総合的学習、教材・教具の工夫、学習集団など（青木道忠）	
21 音楽	障害の重い子と音楽表現、発達段階にそくしたうた・リズム、観賞、教材・創作曲の交流（交渉中）	
22 体育	発達課題と教育課程、運動文化、さまざまな競技とその工夫、技術、実技（交渉中）	
23 図工・美術	発達と造形・表現活動、教材の工夫、学級・学校での実践、作品の交流（板井理）	
24 通常学級での障害児の教育（特1 特別支援教育と合同開催）	授業の進め方、授業内外での援助のあり方、集団づくりと集団保障。全校での支援体制づくりと障害児学級や通級指導（清水貞夫）	
25 行事・生活・自治	基本的な生活習慣の獲得、生活・遊び、自治活動・集団づくり、労働教育、作業学習の検討など（大久保哲夫）	
26 自立活動	「自立活動」と教育課程、具体的な方法・技術、知的障害の「自立活動」、教職員の養成・研修など（齋藤繁）	
27 寄宿舎教育	寄宿舎の役割、生活づくり、生きる力を育てる実践、職員体制、統廃合問題など（大泉博）	
28 共同教育、統合教育、交流	交流から共同教育への発展の課題、科学的障害観・障害者問題観を育てる課題、教職員・健常児の障害・障害児理解（藤森善正）	
29 放課後保障と地域での生活	放課後や長期休暇中の生活実態、学童保育所の入所、障害児学童クラブ活動、実践交流、サマースクール（黒田学、津止正敏、村岡真治）	
30 後期中等教育	青年期の発達課題と教育内容、教育課程、労働教育、高等養護学校のあり方、障害児学級設置など（森下芳郎）	
31 卒業後の進路	進路指導の内容と卒業後の実態、職業教育と進路指導、自立をめざす教育、アフターケアなど。専攻科設置や実践。（小畑耕作、坂井清泰）	

### ◇青年期、成人期

32 作業所・授産施設の運営と実践	作業所や施設づくり、資金づくりと運営、作業・労働内容、集団づくり。職員の役割、地域連携。（田中きよむ、久澤貢）	県文化会館
33 障害の重い人の日中活動	通所・入所施設づくり、援助の方法、医療的ケア、生きがいづくりの場と活動（白石恵理子）	
34 一般就労	就労生活の実態や悩み、安定就労への援助、援助付就労、職安との連携（嶋島厚）	
35 生活施設・グループホームの運営と実践	グループホームや生活施設づくり、運営方法、日課、個室など生活空間集団づくり、職員集団（加藤直樹）	
36 地域での生活と支援	自立への願い、所得保障、ヘルパー、住宅、デイスーパー、ボランティア、地域連携、ケアマネジメント（上杉文代、松本誠司）	市中部公民館
37 女性障害者	女性の悩み、権利侵害、仕事や生活の問題、恋愛、結婚と家庭生活、子育て、ヘルパー、所得保障、近所づきあい（小森淳子）	
38 壮年期・高齢期・中途障害者	高齢と障害、地域における生活と労働、仕事の開拓、障害の受容、家族との連携、作業所づくり、介護保険（津田充幸）	
39 作業所・施設などでの自主的な活動	余暇・行事、自治活動など仲間が主人公となるとりくみ、地域との連携（武藤信一郎）	
40 青年学級、文化・スポーツ	青年学級など社会教育の実践、地域連携、ボランティア、制度保障。演劇・ミュージカル、人形劇などのとりくみ（高橋正教、南寿樹）	

### ◇ライフサイクル

41 自閉症児・者の発達と生活	乳幼児期から青年、成人期を見通した子育て、学校や施設での実践の検討、家族への支援、医療と連携など（別府哲）	教育大学
42 肢体障害児・者の発達と生活	乳幼児期から青年、成人期を見通した教育や医療、福祉のあり方、二次障害や医療、リハビリテーションの課題（坂野幸江）	

### ◇権利保障

43 障害者運動	障害者自立支援法、介護保険、障害者運動、参政権、成年後見、権利擁護、無年金障害者など（井上吉郎、塩見洋介、白沢仁）	教育大学
44 まちづくりとバリアフリー	交通機関の充実、まち点検活動、まちづくり条例、バリアフリー新法、防災とまちづくり、住宅と環境（市橋博）	

### ◇特別分科会

特別1 特別支援教育	教育改革の現段階。特別支援教育の進展状況。保護者・地域と手をつなぐ障害児教育改革づくり（荒川智）	教育大学
特別2 軽度発達障害（29日午前のみ開催）	第5、第17分科会の合同分科会として29日午前に開催（長沼睦雄、二通諭）	
特別3 障害児者の性と性教育	性的にも健康に人間らしく生きる権利。自慰。恋愛。年齢や障害に応じた教育や支援の実践交流。性教育攻撃の動向（木全和巳、永野佑子）	
特別4 障害者権利条約と国内法（30日午前のみ開催）	権利条約の内容と役割、条約化に向けた道のりと今後の課題、特別委員会、国内法との検討課題など（中村尚子）	
特別5 児童施設の明日を語る	障害者自立支援法と児童入所施設、児童入所施設の役割と展望、発達支援、家族支援、関係機関との連携（斎藤文夫）	
特別6 親ときょうだいのつとめ	親やきょうだいの悩み、ファミリーサポートのあり方、健康、年齢をこえて語り合います。（池添素）	
特別7 なかまの分科会	仕事やくらしのこと、これからの夢を話し合う分科会です。	
特別8 精神障害者の生活と権利	障害者自立支援法のもとでの生活と権利について語り合う分科会です。	

### 分科会レポートの提出方法

- ①全国事務局に「レポート作成の手引き」と所定の用紙を請求してください。
- ②所定の形式で6月26日（月）までに全国事務局に提出してください。参加者全員に配布される「レポート集」に掲載します。事前連絡なしの当日持ち込みは、分科会で発表できない場合があります。
- ③発表に際して必要とするビデオの使用希望はレポート提出時に明記してください。

### 自主出版の委託方法

- ①大会準備委員会（奈良）または全国事務局に「取扱方法」と申込書を請求してください。
- ②6月26日（月）までに所定の申込書で大会準備委員会（奈良）に申し込んでください。